

# 品質保証について

---

## 品質保証 通院

### 【佐久地域の通院の品質保証（案）】

当該軸の沿線の地域拠点を出発して、市町内の地域医療を担う総合病院等に午前中に到着し、遅くとも夕方までに帰宅することができる。

町村内に地域医療を担う総合病院等がない場合は、近隣自治体の総合病院等に通院することができる。

#### ● 調査結果

各市町村の主要な地域拠点から各市町又は近隣自治体にある拠点となる病院への通院の状況については、下記のとおり

#### ■ 各市町内に拠点となる病院がある市町（P3）

【小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、軽井沢町、御代田町】

- ・市町内の移動については、原則市町が主体となって取組む

#### ■ 町村内に拠点となる病院等がない町村（P4）

【川上村、南牧村、南相木村、北相木村、立科町】

- ・川上村、南牧村、南相木村、北相木村から佐久総合病院小海分院へバス又は小海線とバスを乗継ぎ通院可能
- ・立科町から佐久市の病院（佐久総合病院、佐久総合病院佐久医療センター、川西赤十字病院、佐久市立国保浅間病院）へバス（中仙道線（佐久方面）、山手線）で通院可能

## 市町内に拠点となる総合病院等がある市町

市町村	病院名	通院方法
小諸市	小諸高原病院 浅間南麓こもろ医療センター 花岡レディースクリニック	こもろ愛のりくん（利用条件あり、事前登録・予約必要）
佐久市	佐久総合病院 川西赤十字病院 金澤病院 くろさわ病院 雨宮病院 佐久市立国保浅間病院 いまいレディースクリニック 斎藤産婦人科医院	バス（中仙道線（佐久方面）、山手線、佐久御代田線）、 デマンド交通
小海町	佐久総合病院小海分院	町営バス
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	げんでる号（利用条件あり、事前登録・予約必要）
軽井沢町	国民健康保険軽井沢病院	町営バス
御代田町	軽井沢西部総合病院	タクシー助成（条件あり）、公共ライドシェア実証運行中 鉄道やバス（佐久御代田線）で小諸市や佐久市の病院へ通院可能

## 町村内に拠点となる総合病院等がない町村

市町村	病院名	通院方法・経路等
川上村	佐久総合病院小海分院（小海町）	<p>【行き】（小海線+小海町営バス）  信濃川上駅出発 6:53 ～ 小海駅着 7:20  小海駅出発 7:40 ～ 小海分院着 7:42</p> <p>【帰り】（小海町営バス+小海線）  小海分院出発 12:09 ～ 小海駅着 12:13  小海駅出発 13:09 ～ 信濃川上駅着 13:36</p>
南牧村	佐久総合病院小海分院（小海町）	<p>【行き】（小海線+小海町営バス）  野辺山駅出発 6:44 ～ 小海駅着 7:20  小海駅出発 7:40 ～ 小海分院着 7:42</p> <p>【帰り】（小海町営バス+小海線）  小海分院出発 12:09 ～ 小海駅着 12:13  小海駅出発 13:09 ～ 野辺山駅着 13:47</p>
南相木村	佐久総合病院小海分院（小海町）	<p>【行き】（南相木村営バス）  南相木村役場出発 8:25 ～ 小海分院着 8:50</p> <p>【帰り】（南相木村営バス）  小海分院出発 13:15 ～ 南相木村役場着 13:40</p>
北相木村	佐久総合病院小海分院（小海町）	<p>【行き】（北相木村営バス）  北相木村役場出発 8:03 ～ 小海分院着 8:22</p> <p>【帰り】（北相木村営バス）  小海分院出発 13:17 ～ 北相木村役場着 13:35</p>
立科町	佐久総合病院、川西日赤病院、 浅間総合病院 等	<p>【行き】（中仙道線（佐久方面））  立科町役場出発 7:10 ～  川西日赤病院着 7:20  浅間総合病院着 7:59  佐久総合病院着 8:15（中仙道線（佐久方面）→望月BT乗継→山手線）</p> <p>【帰り】（中仙道線（佐久方面））  浅間総合病院出発 16:15  川西日赤病院出発 16:46  佐久総合病院出発 15:35（山手線→望月BT乗継→中仙道線（佐久方面））  立科町役場着 16:59</p> <p>浅間総合病院からは、定額タクシーを利用して適宜帰宅可能</p>

## 高度医療を担う病院：佐久総合病院 佐久医療センター

市町村	病院名	通院方法・経路等
小諸市	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線
佐久市	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線、バス（中仙道線（佐久方面））、デマンド交通
小海町	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線
佐久穂町	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線
川上村	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線
南牧村	佐久総合病院 佐久医療センター	小海線
南相木村	佐久総合病院 佐久医療センター	<p><b>【行き】（南相木村営バス+小海線）</b>            南相木村役場出発 8:25 ～ 小海駅着 8:45            小海駅出発 8:55 ～ 北中込駅着 9:36</p> <p><b>【帰り】（小海線+南相木村営バス）</b>            北中込駅出発 12:23 ～ 小海駅着 13:06            小海駅出発 13:20 ～ 南相木村役場着 13:40</p>
北相木村	佐久総合病院 佐久医療センター	<p><b>【行き】（北相木村営バス+小海線）</b>            北相木村役場出発 8:03 ～ 小海駅着 8:20            小海駅出発 8:55 ～ 北中込駅着 9:36</p> <p><b>【帰り】（小海線+北相木村営バス）</b>            北中込駅出発 12:23 ～ 小海駅着 13:06            小海駅出発 13:20 ～ 北相木村役場着 13:35</p>
軽井沢町	佐久総合病院 佐久医療センター	しなの鉄道線+小海線
御代田町	佐久総合病院 佐久医療センター	しなの鉄道線+小海線
立科町	佐久総合病院 佐久医療センター	<p><b>【行き】（中仙道線（佐久方面））</b>            立科町役場出発 7:37 ～ 佐久医療センター着 8:40</p> <p><b>【帰り】（中仙道線（佐久方面））</b>            佐久医療センター出発 16:03 ～ 立科町役場着 16:59</p>

## 品質保証 通学

### 【佐久地域の通学の品質保証（案）】

当該軸の沿線の地域拠点を出発して、高校等（通信制含む）の登下校に対応した便がある。下校時は、終業後と課外活動後の帰宅にあわせた便がある。

各市町村から市部及び郡内の高校への通学を基本とする。

#### ● 調査結果

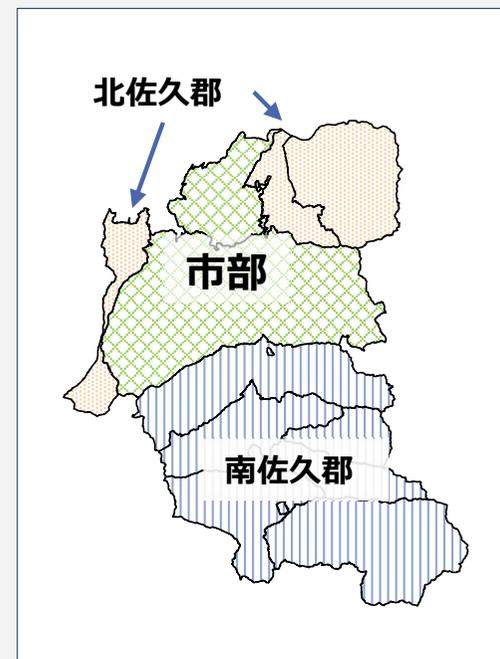
佐久地域は、広域かつ13の高校等（令和8年度からは12の高校等）のキャンパスが存在しているため、全ての地域拠点から圏域の全ての高校等への通学の品質保証は求めず、市部及び郡内の高校等に通学できることをもって、品質保証を満たしているとする。

#### ■ 市部 + 南佐久郡

小諸商業高校、小諸高校、小諸養護学校、佐久平総合技術（浅間キャンパス・臼田キャンパス）、岩村田高校、野沢北高校、野沢南高校、佐久長聖高校、小海高校へ通学可能

#### ■ 市部 + 北佐久郡

小諸商業高校、小諸高校、小諸養護学校、佐久平総合技術（浅間キャンパス・臼田キャンパス）、岩村田高校、野沢北高校、野沢南高校、長野西高校望月サテライト校（旧北佐久郡）、佐久長聖高校、軽井沢高校、蓼科高校、（立科町については、上田高校、上田染谷丘高校、上田東高校含む）へ通学可能



○ 登下校可  
× 始業間に合わない

市町村	小諸商業、小諸 (小諸駅)	小諸養護学校 (美里駅)	岩村田、佐久平総合 技術(浅間)、佐久 長聖 (佐久平駅、岩村田 駅)	野沢北、野沢南 (中込駅)	佐久平総合技術 (臼田 (龍岡城駅))	小海 (馬流駅)	軽井沢 (軽井沢駅)	蓼科 (蓼科高校)	長野西高校望月 サテライト校 (望月バスターミナル)	上田、上田染谷 丘、上田東 (上田駅)
小諸市	○ 徒歩	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ しな鉄	○ スクールバス	○ 小海線、中仙(佐久)	
佐久市	○ 小海線	○ 小海線	○ 徒歩	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線+しな鉄	○ スクールバス、中仙 (佐久)	○ 中仙(佐久)	
小海町	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 徒歩	○ 小海線+しな鉄	○ 小海線+中仙(佐久)	○ 小海線+中仙(佐久)	
佐久穂町	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線+しな鉄	○ 小海線+中仙(佐久)	○ 小海線+中仙(佐久)	
川上村	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	× 小海線+しな鉄	× 小海線+中仙(佐久)	× 小海線+中仙(佐久)	
南牧村	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	○ 小海線	× 小海線+しな鉄	× 小海線+中仙(佐久)	× 小海線+中仙(佐久)	
南相木村	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス	○ 村営バス+小海線 +北陸新幹線	○ 村営バス+小海線 +中仙(佐久)	○ 村営バス+小海線 +中仙(佐久)	
北相木村	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス+小海線	○ 村営バス	○ 村営バス+小海線 +北陸新幹線	○ 村営バス+小海線 +中仙(佐久)	○ 村営バス+小海線 +中仙(佐久)	
軽井沢町	○ しな鉄	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ 徒歩	○ しな鉄+小海線+ 中仙(佐久)	○ しな鉄+小海線+ 中仙(佐久)	
御代田町	○ しな鉄	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線、 佐久御代田線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄+小海線	○ しな鉄	○ しな鉄+小海線+ 中仙(佐久)	○ しな鉄+小海線+ 中仙(佐久)	
立科町	○ 中仙(佐久)+小 海線	○ 中仙(佐久)+小 海線	○ 中仙(佐久)+小 海線	○ 中仙(佐久)+小 海線	○ 中仙(佐久)+小 海線	× 中仙(佐久)+小 海線	○ 中仙(佐久)+北 陸新幹線	○ 中仙(佐久)	○ 中仙(佐久)	○ 中仙(上田)

## 品質保証 観光

### 【佐久地域の観光の品質保証（案）】

広域拠点又は圏域拠点から観光拠点へアクセスすることができ、十分な滞在時間が確保されている。  
ただし、グリーンシーズンのみの運行でも許容する。

#### ● 調査結果

広域拠点・圏域拠点からのアクセス状況の確認したところ、土休日はアクセスに制限のある拠点と、グリーンシーズンのみ運行の拠点は下記のとおり

- **望月宿**：中仙道線（佐久方面）は平日のみの運行であるため、土休日はバス路線でのアクセス不可
- **白樺湖、女神湖**：中仙道線（佐久方面）は平日のみの運行であるため、土休日はアクセス不可  
土休日は茅野駅から白樺湖・車山高原線とシラカバ線、  
又は大屋駅から中仙道線（上田方面）とシラカバ線に乗継ぐことでアクセス可能
- **白駒池、見晴台**：白駒線はグリーンシーズンの土休日のみの運行

○ 平日土休日アクセス可（一部除く）  
 △ 制限有（詳細備考に記載）

No.	拠点	市町村	評価	最寄	最寄からの距離	広域拠点からのアクセス	備考
1	懐古園	小諸市	○	小諸駅	隣接	軽井沢駅からしなの鉄道線 佐久平駅からJR小海線	
2	高峰高原 （高峰高原ビジターセンター）	小諸市	○	高峰高原ビジターセンター	隣接	佐久平駅から高峰高原線	
3	中山道望月宿 （望月バスターミナル）	佐久市	△	望月バスターミナル	隣接	佐久平駅から中仙道線	平日朝夕に限られる
4	白駒池（白駒池入口）	佐久穂町	△	白駒池入口	隣接	佐久平駅から白駒線	グリーンシーズンの土休日に限る
5	松原湖（松原湖入口）	小海町	○	松原湖入口	隣接	佐久平駅から JR小海線+小海町営バス松原湖線	
6	野辺山高原（野辺山駅）	南牧村	○	野辺山駅	隣接	佐久平駅（小淵沢駅）からJR小海線	
7	軽井沢プリンスショッピングプラザ・ 軽井沢プリンススキー場（軽井沢駅）	軽井沢町	○	軽井沢駅	隣接	軽井沢駅隣接	
8	旧軽井沢（旧軽井沢バス停）	軽井沢町	○	旧軽井沢	隣接	軽井沢駅から 西武観光バスまたは草軽交通路線バス	
9	白糸の滝	軽井沢町	○	白糸の滝	隣接	軽井沢駅から草軽交通路線バス	
10	軽井沢タリアセン	軽井沢町	○	塩沢湖	隣接	軽井沢駅から塩沢湖急行線	
11	軽井沢72ゴルフ （軽井沢72ゴルフバス停）	軽井沢町	○	軽井沢72ゴルフ	隣接	軽井沢駅から 西武観光バス、町内循環バス、シャトルバス	
12	軽井沢発地市庭	軽井沢町	○	軽井沢発地市場	隣接	軽井沢駅から町内循環バス	
13	雲場池	軽井沢町	○	六本辻・雲場池	約100m	軽井沢駅から 西武観光バスまたは町内循環バス	
14	見晴台	軽井沢町	△	見晴台	隣接	軽井沢駅から軽井沢交通バス	グリーンシーズンに限る
15	ハルニレテラス	軽井沢町	○	星野温泉トンボの湯	隣接	軽井沢駅から西武観光バス	
16	白樺湖(東白樺湖バス停)	立科町	△	東白樺湖バス停	隣接	①佐久平駅から中仙道線（佐久方面）+シラカバ線 ②茅野駅から白樺湖・車山高原線 ③大屋駅から中仙道線（上田方面）+シラカバ線	中仙道線（佐久方面）とシラカバ線の接続に難 土休日は②と③のみ
17	女神湖（女神湖センター）	立科町	△	女神湖センター	隣接	①佐久平駅から中仙道線（佐久方面）+シラカバ線 ②茅野駅から白樺湖・車山高原線+シラカバ線 ③大屋駅から中仙道線（上田方面）+シラカバ線	中仙道線（佐久方面）とシラカバ線の接続に難 土休日は②と③のみ

## ②各路線の品質保証確認

### ●中仙道線（佐久方面） C:幹線

#### 1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

##### ▷通院 【行き】午前中の診療時間内に到着 【帰り】遅くとも夕方までに帰宅できる

###### 【行き】

地域拠点「立科町役場」から「日赤病院（7:20、7:51）」「浅間総合病院（7:59、8:28）」「佐久医療センター（8:11、8:40）」に到着可能。また、望月バスターミナルで支線（山手線）に乗換し、「佐久総合病院（8:15）」に到着可能

###### 【帰り】

「日赤病院（16:46、17:45）」「浅間総合病院（16:15、17:10）」「佐久医療センター（16:03、16:58）」を出発する便があり、帰宅可能。また、「佐久総合病院（15:35、16:48）」を出発する支線（山手線）の便があり、望月バスターミナルで乗換し、帰宅可能

##### ▷通学

###### 【登校】始業開始前に到着

###### 【授業終了後の下校】17:00頃に学校を出発、【課外活動後の下校】課外活動後に学校を出発

### ●立科町方面から佐久平駅・岩村田駅方面への通学

#### 【登校】

「望月サテライト校（7:26、7:55）」「佐久平総合技術高校浅間キャンパス」「岩村田高校」「佐久長聖高校」（岩村田駅8:02、8:31）に到着可能。また、望月バスターミナルで支線（山手線）に乗換し「野沢北高校（野沢中学校前8:05）」「野沢南高校（野沢バスセンター8:08）」「佐久平総合技術高校臼田キャンパス（8:12）」に到着可能

#### 【下校】

「佐久平総合技術高校浅間キャンパス」「岩村田高校」「佐久長聖高校」（岩村田駅16:12、17:07、18:20、19:29）「望月サテライト校（16:44、17:43）」を出発する便があり、帰宅可能。また「佐久平総合技術高校臼田キャンパス（15:38、16:51、18:01、19:18）」「野沢南高校（野沢バスセンター15:42、16:55、18:05、19:22）」「野沢北高校（野沢中学校前15:44、16:57、18:07、19:24）」を出発する支線（山手線）の便があり、望月バスターミナルで乗換し、帰宅可能

### ●佐久平駅・岩村田駅方面から立科町方面への通学

#### 【登校】

「望月サテライト校（8:14）」「蓼科高校（8:35）」に到着可能

#### 【下校】

「蓼科高校（15:48、<冬季>18:34、<夏季>18:56）」「望月サテライト校（16:10、17:26）」を出発する便があり、帰宅可能

## ▷観光 十分な滞在時間を確保できる。

広域拠点「佐久平駅」から午前中に到着し、夕方に帰宅できる便があり、十分な観光時間確保できる

## 2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

### ▷現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

起点「立科町役場」又は「蓼科高校」、終点「中込駅」、経由地「岩村田駅」「佐久平駅」であることから、広域・圏域拠点の佐久平駅・岩村田駅と地域拠点の立科町役場を走行する路線であり**妥当**

経由地には、地域拠点となる「望月バスターミナル」や「日赤病院」「浅間総合病院」「佐久医療センター」の他に、「東信免許センター」や「佐久市役所」等も経由することから、1路線で様々なニーズを満たす路線となっており**妥当**

### ▷運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

#### 【運行ダイヤ・便数】

通院：品質が保証されており**妥当**

通学：品質が保証されており**妥当**

#### 【運行形態・車両のサイズ】

利用車両：中型バス（乗車定員56人）

登校時間帯は利用者が多いことから適切なサイズでの運行になっている。

## 3 路線同士が競合していないか

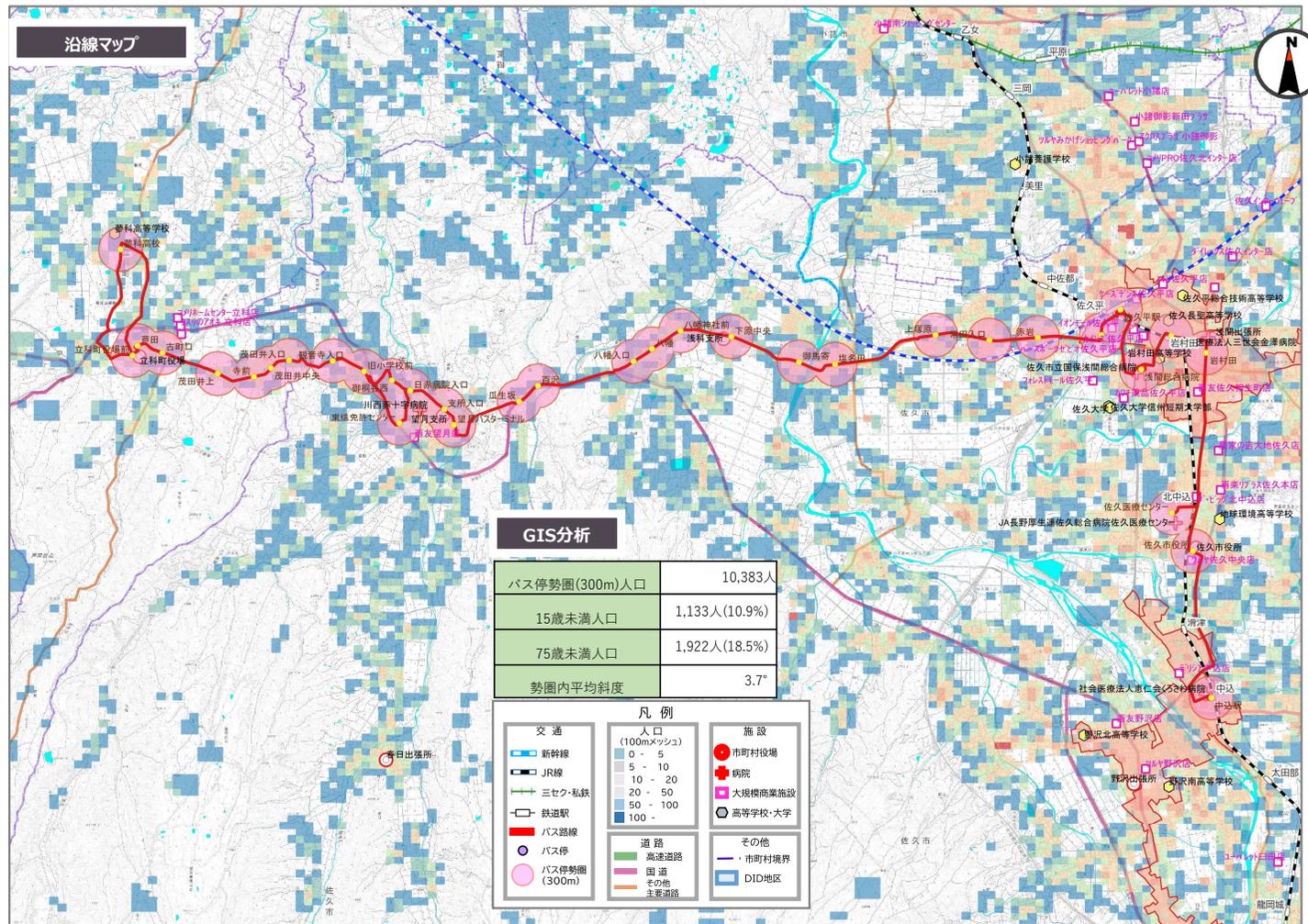
### ▷複数の事業者が類似の路線を走行していないか、幹線同士又は準幹線や支線の一部が重複していないか

立科町の地域拠点と圏域拠点の佐久平駅・岩村田駅を結ぶ唯一の路線であり、競合していない

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
01佐久	C：幹線	0131	中仙道線 (佐久方面)

### 路線の基礎データ

路線名	中仙道線(佐久方面)		
運営主体	佐久市、立科町		
運行事業者	千曲バス(株)		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	いすゞ	
	乗車定員	56人	
運行状況	起点	主系統	中込駅
		最長系統	中込駅
	主要経由地	浅間総合病院	
	終点	主系統	立科町役場前
		最長系統	蓼科高校
	キロ程	主系統	25.5km
	最長系統	28.6km	
運行日	平日	上り5便	下り5便
	土曜	-	
	休日	-	
	平日	7:10~20:16	
	土曜	-	
	休日	-	
運賃体系	運賃種別	均一	
	初乗り運賃	200円	
	最長区間運賃	200円	
	子ども運賃	100	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	×	
	回数券	○	
	通学定期	○	
	通勤定期	○	
	キャッシュ決済	QRコード決済	
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	通院・通学などの生活利用		



**路線の位置づけ**

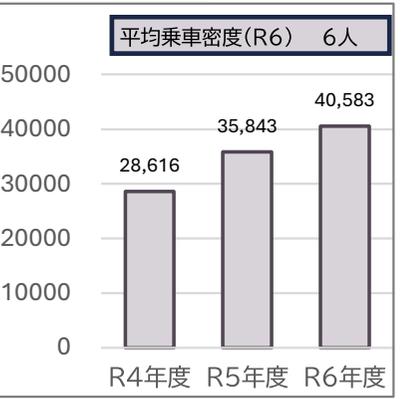
・佐久市中込地区から、佐久市中心部(岩村田)、佐久市望月地区、浅科地区の中心部を経て、立科町役場を結ぶ路線。現在、当該路線は立科町役場が終点となっているが、路線としては中仙道線(上田方面)に接続し、上田市のしなの鉄道大屋駅に通じている。

・一般にバス路線は、郊外部から市街地中心へ向かう需要が多いが、本路線は市街地から郊外部に向かう逆方向の移動があることも特徴である。具体的には、上記の観光移動、免許取得のほか、2校の高校への通学移動などがあげられる。

### 事業収支(令和6年度)

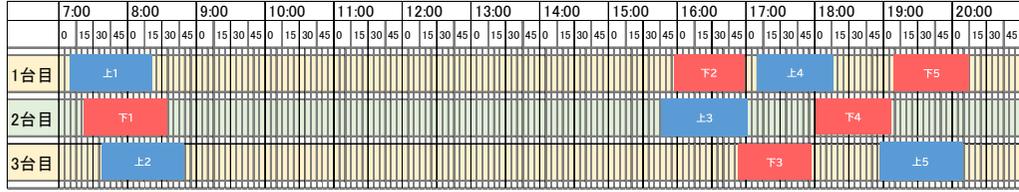
	費用(千円)	備考
運行経費	37,452	
運賃収入	7,416	
収支率	20%	
補助金	国	5,369
	県	5,369
	市町村	-

### 利用実績(直近3年)



### ダイヤ及び車両の運用

※下図は平日のターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。



## ●佐久御代田線 C:幹線

### 1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

#### ▷通院 【行き】午前中の診療時間内に到着 【帰り】遅くとも夕方までに帰宅できる

##### 【行き】

地域拠点「御代田駅」から「金澤病院（龍雲寺7:50）」「浅間総合病院（7:54）」に到着可能

##### 【帰り】

「浅間総合病院（16:40）」「金澤病院（龍雲寺16:44）」を出発する便があり、帰宅可能

#### ▷通学

##### 【登校】始業開始前に到着

##### 【授業終了後の下校】17:00頃に学校を出発、【課外活動後の下校】課外活動後に学校を出発

##### 【登校】

岩村田駅前に7:52着の便があり、「佐久平総合技術高校浅間キャンパス」「岩村田高校」「佐久長聖高校」へ到着可能

##### 【下校】

岩村田駅前を16:42に出発する便があり、「佐久平総合技術高校浅間キャンパス」「岩村田高校」「佐久長聖高校」から帰宅可能  
※課外活動後の便は、利用状況が低迷し現在は廃止しているが、小海線としなの鉄道線に乗継ぐことで帰宅可能

#### ▷観光 十分な滞在時間を確保できる。

沿線に地域拠点である観光地なし

## 2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

### ▷ 現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

起点「御代田駅」、経由地「岩村田駅」、終点「浅間総合病院」であることから、広域・圏域拠点の佐久平駅・岩村田駅と地域拠点の御代田駅を走行する路線であり**妥当**

### ▷ 運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

#### 【運行ダイヤ・便数】

通院：品質が保証されており**妥当**

通学：部活後の便はないが、需要に応じた運行になっており、品質は保証されている

#### 【運行形態・車両のサイズ】

利用車両：中型バス（乗車定員50人）

登校時間帯は利用者が多いことから適切なサイズでの運行になっている

## 3 路線同士が競合していないか

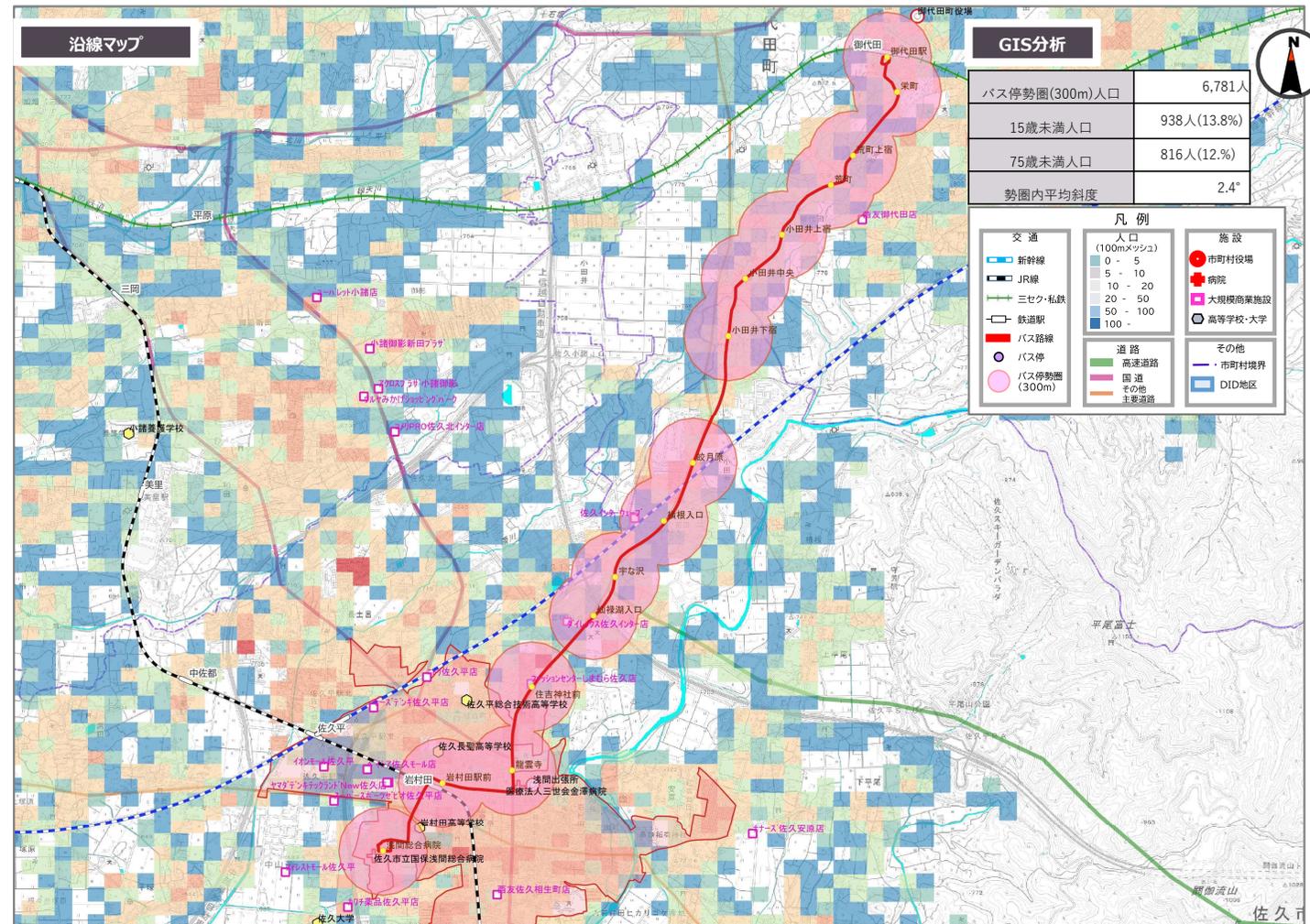
### ▷ 複数の事業者が類似の路線を走行していないか、幹線同士又は準幹線や支線の一部が重複していないか

御代田駅と岩村田駅を直接結ぶ唯一の路線であり、競合していない

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
01佐久	C：幹線	0132	佐久御代田線

### 路線の基礎データ

路線名	佐久御代田線			
運営主体	御代田町			
運行事業者	千曲バス(株)			
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]		
	運行方式	路線定期運行		
車両	使用車両	三菱		
	乗車定員	50人		
運行状況	起点	主系統	浅間総合病院	
		最長系統	浅間総合病院	
	主要経由地	小田井		
	終点	主系統	御代田駅	
		最長系統	御代田駅	
	キロ程	主系統	7.4km	
	最長系統	7.4km		
運行本数	運行日	平日		
		平日	上り1便 下り1便	
		土曜	-	
		休日	-	
	運行時間帯	平日	7:35~16:59	
		土曜	-	
	休日	-		
運賃体系	運賃種別	均一		
	初乗り運賃	200円		
	最長区間運賃	200円		
	子ども運賃	100		
	障がい者割引	半額		
	高齢者割引	×		
	回数券	○		
	通学定期	○		
	通勤定期	○		
	キャッシュレス決済	QRコード決済		
GTFS	Googleマップへの掲載あり			
利用目的	通院・通学などの生活利用			



### GIS分析

バス停勢圏(300m)人口	6,781人
15歳未満人口	938人(13.8%)
75歳未満人口	816人(12.2%)
勢圏内平均斜度	2.4°

凡例

- 交通: 新幹線, JR線, ミセク私鉄, 鉄道駅
- バス路線: バス停, バス停勢圏(300m)
- 人口: 0-5, 5-10, 10-20, 20-50, 50-100, 100+
- 施設: 市町村役場, 病院, 大規模商業施設, 高等学校・大学, その他
- 道路: 道路, 高速道路, 国道, 主要道路
- 境界: 市町村境界, DID地区

**路線の位置づけ**

- ・佐久市の浅間総合病院から佐久市中心部及び北部、御代田町西部を経て、しなの鉄道御代田駅を結ぶ路線。
- ・岩村田付近の沿道に3つの高校があるほか、病院、大規模商業施設などが立地している。途中経路も旧国道141号を經由するため、商業施設などが沿道に並ぶ。
- ・ダイヤとしては、朝に上り1便、夕方から夜に下り2便のみで、いずれも高校生の通学にあわせた時間帯の運行となっている。
- ・佐久市と御代田町による補助路線となっており、費用負担は佐久市のほうが若干多い程度である。

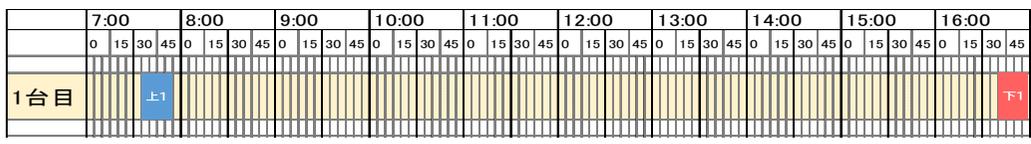
### 事業収支 (令和6年度)

	費用(千円)	備考
運行経費	6,470	
運賃収入	1,271	
収支率	20%	
補助金	国	-
	県	-
	市町村	3,278 佐久市 2,686 御代田町



### ダイヤ及び車両の運用

※下図は平日のパターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。



## ●南相木線 C:幹線

### 1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

#### ▷通院 【行き】午前中の診療時間内に到着 【帰り】遅くとも夕方までに帰宅できる

##### 【行き】

地域拠点「南相木村役場」から「佐久総合病院小海分院（7:20、8:50）」に到着可能

##### 【帰り】

「佐久総合病院小海分院（11:45、13:15、15:15）」を出発する便があり、帰宅可能

#### ▷通学

##### 【登校】始業開始前に到着

##### 【授業終了後の下校】17:00頃に学校を出発、【課外活動後の下校】課外活動後に学校を出発

##### 【登校】

小海駅に6:50、7:15着の便があり、小海線・バス路線を乗継ぐことで「小海高校」並びに佐久市内の高校、小諸市内の高校に到着可能

##### 【下校】

小海駅を16:40、17:40、18:30、19:20に出発する便があり、小海線・バス路線を乗継ぎ「小海高校」並びに佐久市内の高校、小諸市内の高校から帰宅可能

#### ▷観光 十分な滞在時間を確保できる。

沿線に地域拠点である観光地なし

## 2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

### ▷ 現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

起点「中島」、終点「小海駅」又は「小海分院」であることから、圏域拠点「小海駅」と地域拠点「南相木村役場」を走行する路線であり**妥当**  
他の鉄道路線やバス路線が経由していない路線であり**妥当**

### ▷ 運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

#### 【運行ダイヤ・便数】

通院：品質が保証されており**妥当**

通学：品質が保証されており**妥当**

#### 【運行形態・車両のサイズ】

利用車両：中型バス（乗車定員40人）又はワゴン車（乗車定員14人）

時間帯に応じて車両を使い分けることで適切に運行

## 3 路線同士が競合していないか

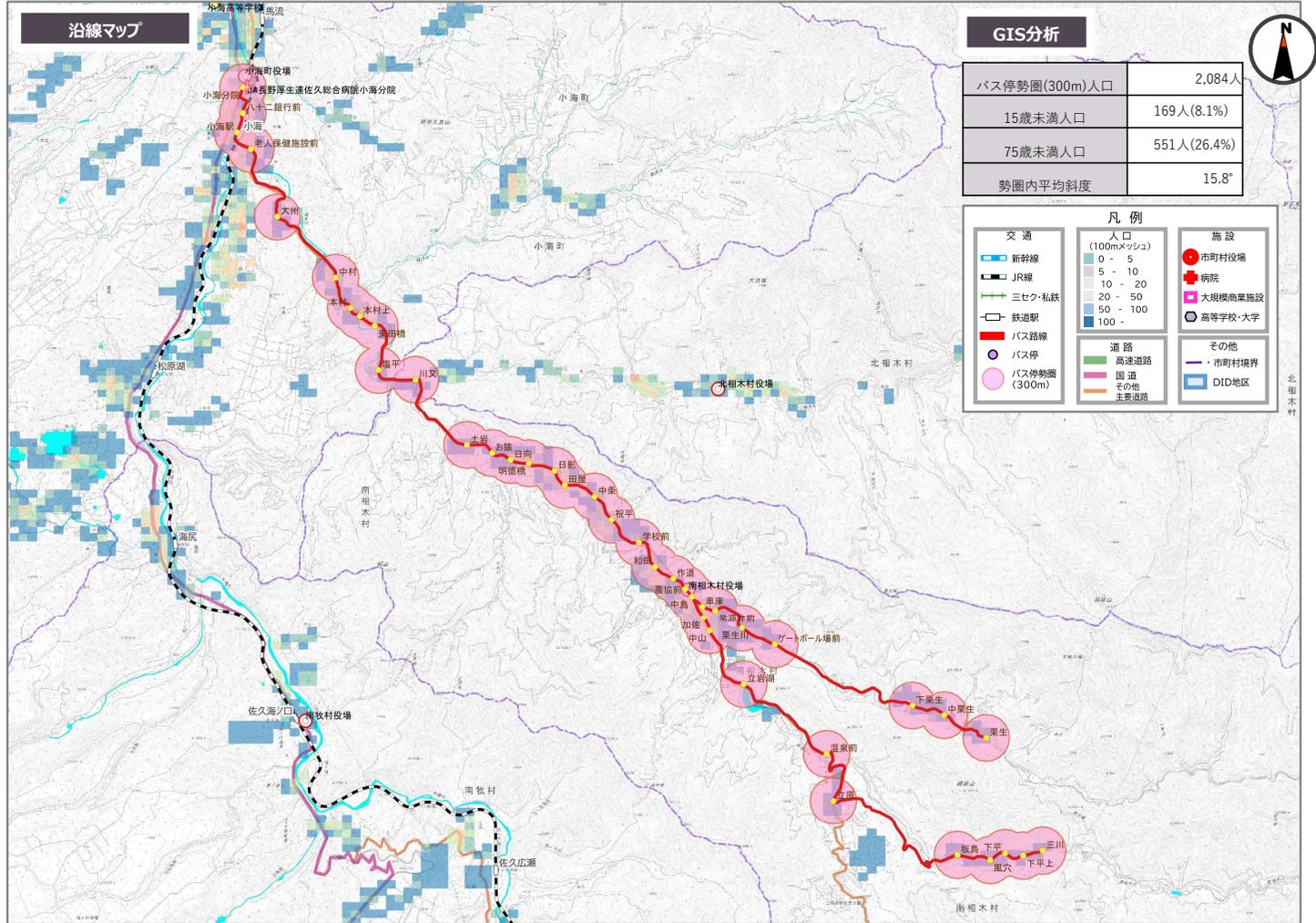
### ▷ 複数の事業者が類似の路線を走行していないか、幹線同士又は準幹線や支線の一部が重複していないか

一部区間が北相木村村営バスと重複しているが、南相木村から圏域拠点の小海駅を結ぶ唯一の路線であり、**適切**

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
01佐久	D：準幹線	0143	南相木線

### 路線の基礎データ

路線名	南相木線		
運営主体	南相木村		
運行事業者	南相木村		
事業形態	許認可形式	78条登録（自家用有償旅客運送）	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	いすゞ・ハイース	
	乗車定員	40人・14人	
運行状況	起点	主系統	中島
		最長系統	小海分院
	主要経由地	主系統	小海駅
		最長系統	小海分院
	終点	主系統	小海駅
		最長系統	小海分院
	キロ程	主系統	11.2km
		最長系統	11.2km
運行日			
運行本数	平日	上り10便 下り10便	
	土曜	上り5便 下り5便	
	休日	上り5便 下り5便	
	平日	6:30～19:40	
運行時間帯	土曜	6:55～17:00	
	休日	6:55～17:00	
	運賃種別	均一	
	初乗り運賃	100円	
最長区間運賃	100円		
子ども運賃	半額		
障がい者割引	半額		
高齢者割引	×		
回数券	×		
通学定期	○		
通勤定期	×		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	整備あり・Googleマップへの掲載なし		
利用目的	生活・観光利用両方 その他		

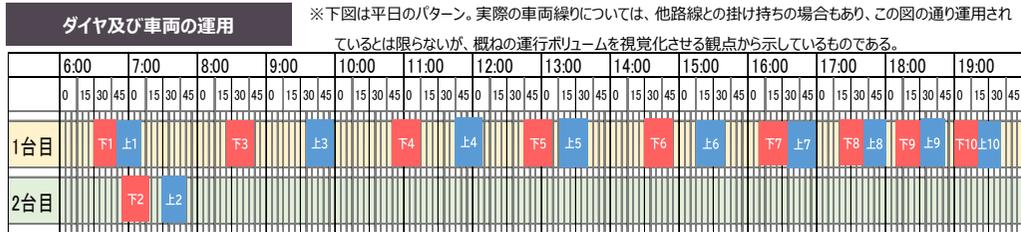


**路線の位置づけなど**

- ・JR小海線の小海駅等がある小海町の中心部から、南相木村の中心部までを結ぶ路線。
- ・バスの沿道となる小海町の市街地には、佐久総合病院の小海分院があるほか、小規模な商店が数軒立地しており、南相木村民の医療、日常生活を担っている。
- ・最寄り的高校として県立小海高校があるが、小海線で1駅北の馬流にあり、南相木線でのアクセスはできない。
- ・沿道の大半の区間は集落で、谷沿いのため、居住範囲に限られており、人口密度も低い。
- ・収支率は1%未満と低い状況にある。

**事業収支 (令和6年度)**

	費用(千円)	備考
運行経費	25,648	
運賃収入	243	
収支率	0%	
補助金	国	7,000
	県	0
	市町村	0



## ●北相木村村営バス C:幹線

### 1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

#### ▷通院 【行き】午前中の診療時間内に到着 【帰り】遅くとも夕方までに帰宅できる

##### 【行き】

地域拠点「北相木村役場」から「佐久総合病院小海分院（8:22）」に到着可能

##### 【帰り】

「佐久総合病院小海分院（11:17、13:17、15:17）」を出発する便があり、帰宅可能

#### ▷通学

##### 【登校】始業開始前に到着

##### 【授業終了後の下校】17:00頃に学校を出発、【課外活動後の下校】課外活動後に学校を出発

##### 【登校】

小海駅に6:50、7:15着の便があり、小海線・バス路線を乗継ぐことで「小海高校」並びに佐久市内の高校、小諸市内の高校へ到着可能

##### 【下校】

小海駅を16:35、17:40（冬季のみ）、18:20（夏季のみ）、19:20に出発する便があり、小海線・バス路線を乗継ぎ「小海高校」並びに佐久市内の高校、小諸市内の高校から帰宅可能

#### ▷観光 十分な滞在時間を確保できる。

沿線に地域拠点である観光地なし

## 2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

### ▷ 現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

起点「三寸木」、終点「小海駅」又は「小海分院」であり、圏域拠点「小海駅」と地域拠点「北相木村役場」を走行する路線であり**妥当**  
他の鉄道路線やバス路線が経由していない路線であり**妥当**

### ▷ 運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

#### 【運行ダイヤ・便数】

通院：品質が保証されており**妥当**

通学：品質が保証されており**妥当**

#### 【運行形態・車両のサイズ】

利用車両：小型バス（乗車定員29人）

登校時間帯の利用者が多く、**適切**

## 3 路線同士が競合していないか

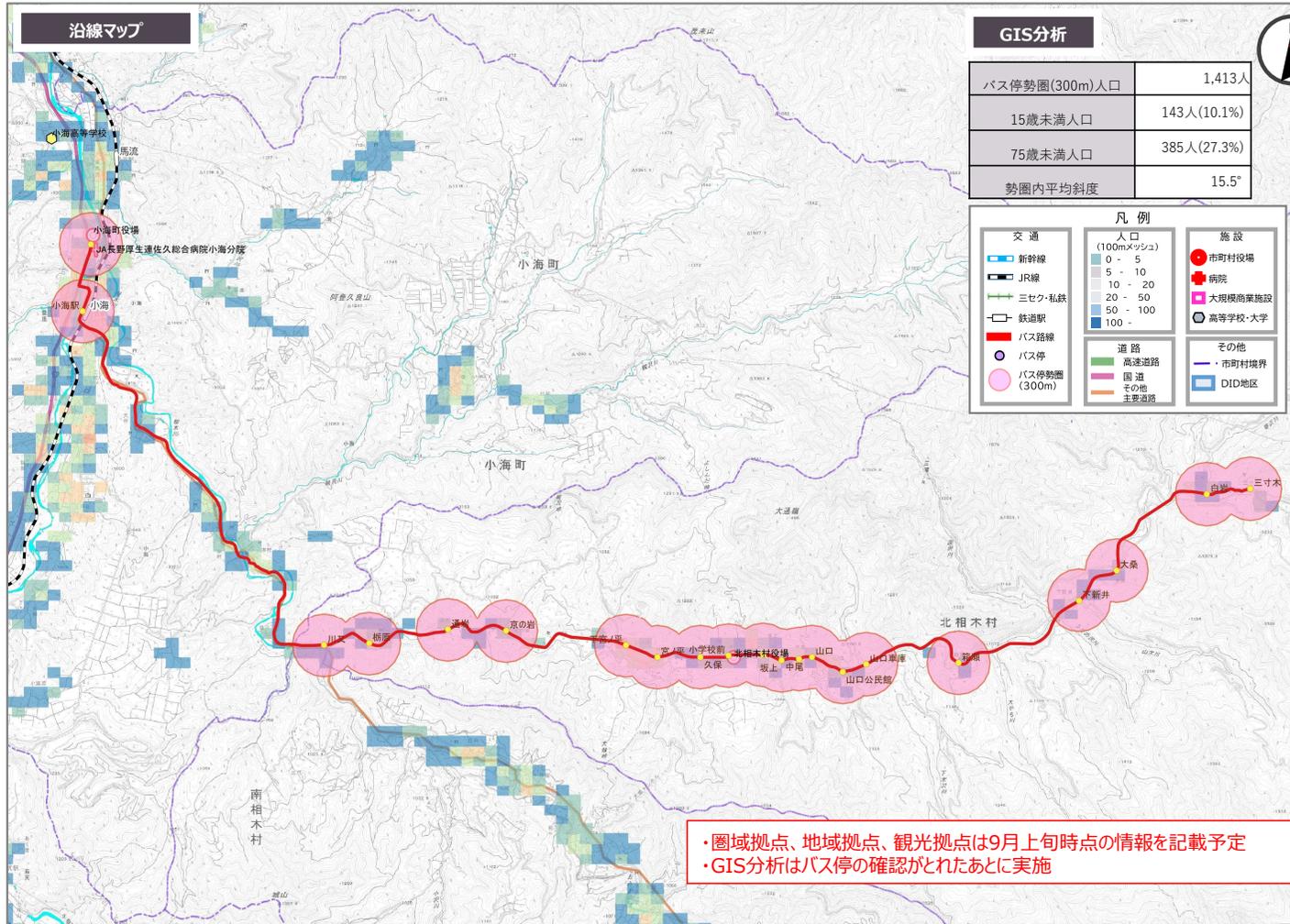
### ▷ 複数の事業者が類似の路線を走行していないか、幹線同士又は準幹線や支線の一部が重複していないか

一部区間が南相木村村営バスと重複しているが、北相木村から圏域拠点の小海駅を結ぶ唯一の路線であり、**適切**

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
01佐久	D：準幹線	0144	北相木村営バス

路線の基礎データ

路線名	北相木村営バス		
運営主体	北相木村		
運行事業者	北相木村		
事業形態	許認可形式	78条登録（自家用有償旅客運送）	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	小型バス	
	乗車定員	29人	
運行状況	起点	主系統 小海分院 最長系統 -	
	主要経由地	北相木村役場、小海駅、佐久総合病院小海分院	
	終点	主系統 三寸木 最長系統 -	
	キロ程	主系統 15.8km 最長系統 -	
	運行日	毎日	
	運行本数	平日	上り10便・下り14便
		土曜	上り10便・下り14便
		休日	上り6便・下り6便
	運行時間帯	平日	6:05～19:50
		土曜	6:05～19:50
休日		8:05～17:40	
運賃体系	運賃種別	均一	
	初乗り運賃	100円	
	最長区間運賃	-	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	無料	
	高齢者割引	無料	
	回数券	○	
	通学定期	○	
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	なし		
GTFS	整備あり・Googleマップへの掲載なし		
利用目的	通院・通学などの生活利用		



・圏域拠点、地域拠点、観光拠点は9月上旬時点の情報を記載予定  
 ・GIS分析はバス停の確認がとれたあとに実施

路線の位置づけなど

- ・JR小海線の小海駅等がある小海町の中心部から、北相木村の中心部を経て、概ね最奥の集落となる三寸木までを結ぶ路線。
- ・バスの沿道となる小海町の市街地には、佐久総合病院の小海分院があるほか、小規模な商店が数軒立地しており、北相木村民の医療、日常生活を担っている。
- ・最寄り的高校として県立小海高校があるが、小海線で1駅北の馬流にあり、北相木線でのアクセスはできない。
- ・沿道の大半の区間は集落で、谷沿いのため、居住範囲が限られており、人口密度も低い。

	費用(千円)	備考
運行経費	37,433	
運賃収入	208	
収支率	1%	
補助金	国	0
	県	0
	市町村	0



※下図は平日のパターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。

ダイヤ及び車両の運用	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00					
1台目	下1	上1	下3	上3	下5	上4	下7	上5	下8	上6	下9	上7	下10	上8	下12	上9	下13	上10	下14
2台目	下2	上2	下4												下11				

## ●中仙道線（上田方面） C:みなし幹線

### 1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

#### ▷通院 【行き】午前中の診療時間内に到着 【帰り】遅くとも夕方までに帰宅できる

沿線に地域拠点である病院なし

#### ▷通学

【登校】始業開始前に到着

【授業終了後の下校】17:00頃に学校を出発、【課外活動後の下校】課外活動後に学校を出発

#### 【登校】

「大屋駅」に7:11着の便があり、大屋駅から上田駅へしなの鉄道線又はバス路線に乗継ぎ、上田駅周辺の高校へ到着可能

#### 【下校】

上田駅から大屋駅までしなの鉄道線又はバス路線に乗継ぎ、大屋駅を16:16、17:25、18:43に出発する便があり帰宅可能

#### ▷観光 十分な滞在時間を確保できる。

大屋駅から立科町役場で乗換え、白樺高原へアクセス可能

## 2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

### ▷現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

起点「立科町役場」、終点「大屋駅」であることから、地域拠点の立科町役場から隣接する上田圏域の上田駅方面へ向かうしなの鉄道線に直接アクセスする唯一の路線であり**妥当**

佐久市を經由する経路は時間的にも金銭的にも利用するのは非効率であり、この路線は**適切**。

### ▷運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

#### 【運行ダイヤ・便数】

通院：品質が保証されており**妥当**

通学：品質が保証されており**妥当**

#### 【運行形態・車両のサイズ】

利用車両：小型バス（乗車定員29人）又は中型バス（乗車定員32人）

登校時間帯の利用者が多く、**適切**

## 3 路線同士が競合していないか

### ▷複数の事業者が類似の路線を走行していないか、幹線同士又は準幹線や支線の一部が重複していないか

地域拠点の立科町役場としなの鉄道線大屋駅を乗換なしで結ぶ唯一の路線であり、競合していない

## みなし幹線の適用について

### みなし幹線とは

鉄道又はバスなどの公共交通で、直接圏域の中心市町（圏域拠点）へ移動する手段がなく、乗り継ぎにより圏域拠点に移動するための唯一の手段である市町村間を結ぶ路線（以下、「みなし幹線」という。）であること。

みなし幹線は、原則として、**鉄道駅が所在しない市町村**で、かつ**1路線に限る**ものとする。

ただし、その他特段の事情があり、知事が必要と認める場合はその限りではない。（信州型広域バス路線支援制度補助金交付要綱より）

#### ○みなし幹線の適用条件

適用条件	立科町の場合
①鉄道駅がないこと	○ 鉄道駅無し
②鉄道又はバス路線で直接圏域拠点へ移動する手段がないこと	× C幹線（中仙道線（佐久方面））が存在

⇒ 通常では、みなし幹線の適用外

#### ただし書き適用により、みなし幹線とするための整理

「立科町⇔上田市」の移動において、「立科町⇔佐久市⇔上田市」と移動することは効率性に欠ける。

(参考) 立科町から上田圏域までの移動ルート ※乗車時間は最短のものを記載

移動経路	時間・料金等
① 立科 ←中仙道線(上田方面)→ 大屋 ←しなの鉄道線→ 上田	<ul style="list-style-type: none"> <li>●片道乗車時間<b>33分</b> (バス 27分、鉄道 6分)</li> <li>●片道料金<b>940円</b> (バス 710円、鉄道 230円)</li> </ul> 中仙道線(上田方面) 16便/日(平日)
② 立科 ←中仙道線(佐久方面)→ 佐久平 ←小海線→ 小諸 ←しなの鉄道線→ 上田	<ul style="list-style-type: none"> <li>●片道乗車時間<b>72分</b> (バス38分、鉄道34分(小海線 14分、しなの鉄道 20分))</li> <li>●片道料金<b>820円</b> (バス 200円、鉄道 620円)</li> </ul> 中仙道線(佐久方面) 10便/日(平日朝夕のみ)
③ 立科 ←中仙道線(佐久方面)→ 佐久平 ←北陸新幹線→ 上田	<ul style="list-style-type: none"> <li>●片道乗車時間<b>47分</b> (バス 38分、新幹線 9分)</li> <li>●片道料金<b>1,500円</b> (バス 200円、鉄道 1,300円)</li> </ul> 中仙道線(佐久方面) 10便/日(平日朝夕のみ)

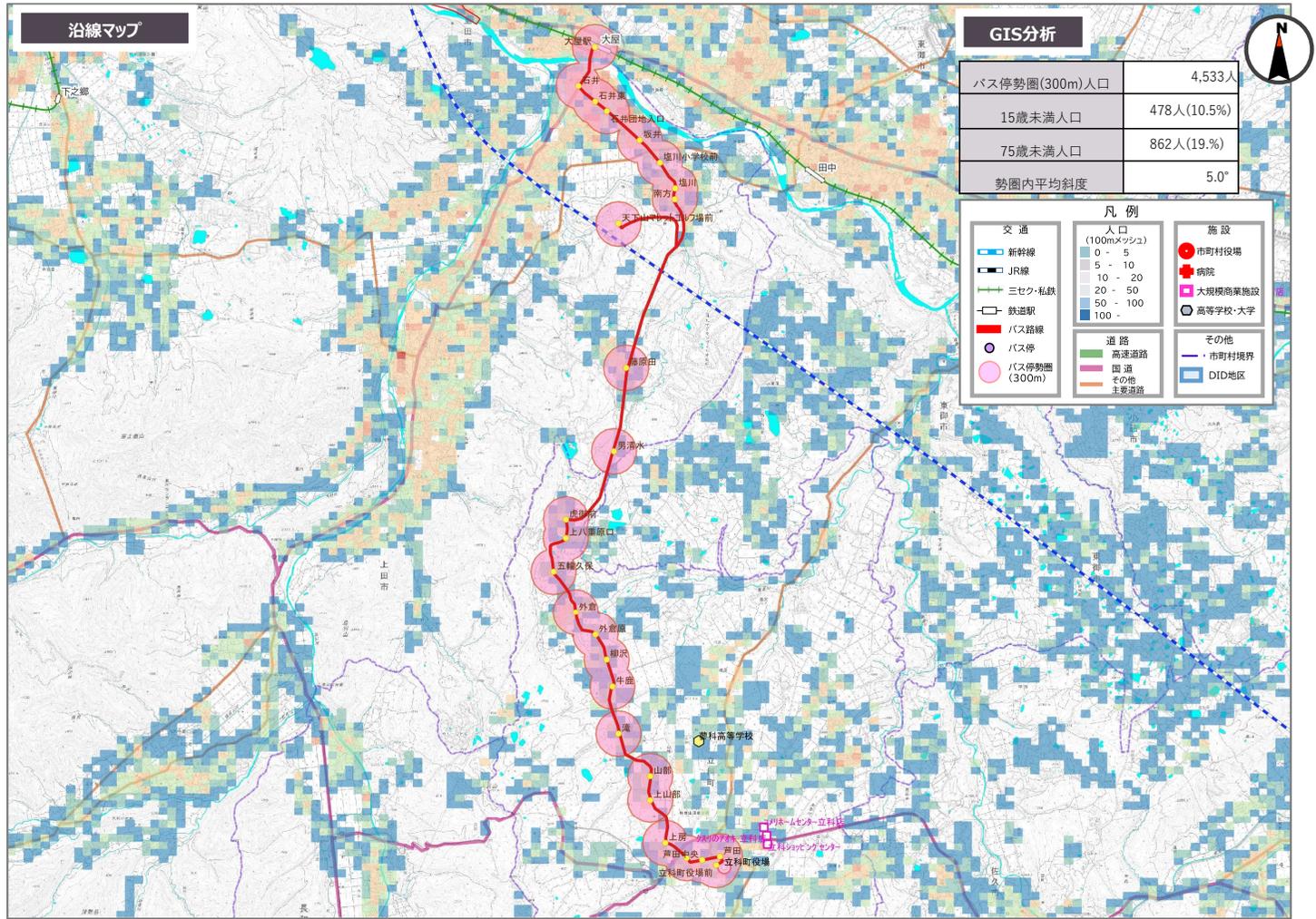
## ● 中仙道線(上田方面)の位置づけ

令和2年国勢調査の結果によると、立科町から上田市方面への通学者は48名に上る。このことから、立科町としなの鉄道線の駅を直接結ぶ唯一の路線である中仙道線(上田方面)は、特に上田地域への通学需要において不可欠な路線である。そのため、本路線は地域における重要な交通基盤として、「みなし幹線」として計画に位置付ける。

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
01佐久	D：準幹線	0141	中仙道線（上田方面）

### 路線の基礎データ

路線名	中仙道線（上田方面）		
運営主体	上田市、立科町		
運行事業者	東信観光バス（株）		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	小型	
	乗車定員	29人/32人(2台運行)	
運行状況	起点	主系統	大屋駅
	主要経由地	最長系統	大屋駅
	終点	主系統	立科町役場
		最長系統	立科町役場
	キロ程	主系統	①13.4km
		最長系統	②15.6km
	運行日	毎日	
	運行本数	平日	上り8便 下り8便
		土曜	上り6便 下り6便
		休日	上り6便 下り6便
運行時間帯	平日	6:42～19:10	
	土曜	8:20～19:10	
	休日	8:20～19:10	
運賃体系	運賃種別	距離制	
	初乗り運賃	100円	
	最長区間運賃	710円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	なし	
	回数券	○	
	通学定期	○	
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	整備あり・Googleマップへの掲載なし		
利用目的	生活・観光利用両方		



**路線の位置づけなど**

- ・上田市のしなの鉄道大屋駅から上田市東部の立科町北東部を経て、立科町役場を結ぶ路線。
- ・上田市と立科町による補助路線であり、費用負担は上田市のほうが若干多い程度である。
- ・1日を通じて1時間～1時間半おきに運行されており、高校生の通学から通院、買物にも利用可能なダイヤとなっている。
- ・大屋駅付近には商業施設、病院等があるが、その他の区間はほぼ居住地の運行で、人口密度も低い。
- ・利用者数は直近3年で増加傾向にあり、特に令和6年度は令和5年度の2倍以上の利用を記録した。

	費用(千円)	備考
運行経費	11,841	
運賃収入	2,357	
収支率	20%	
補助金	国	-
	県	-
	市町村	9,206 上田市 9,074 立科町

